

長田区計画

～ 世界に誇れ！ 食と鉄人「ゲー」なまち 長田 ～

平成 23 年 2 月

神戸市長田区

はじめに

長田区では、1996年に「区別計画」、2005年に「区中期計画」を策定し、区民の皆様と協働して、区の個性を活かしたまちづくりを進めてまいりました。これら2つの計画は2010年で期限を迎えましたが、少子・超高齢化の進展など全市的な課題に加えて、地域を取り巻く課題も大きく変化しています。これらを解決し、さらに魅力あるまちづくりを進めていくため、2025年に向けた区の将来の姿を描くとともに、2015年度までの区の実行計画として、「長田区計画」を策定しました。

策定にあたりましては、区民アンケートやシンポジウム、ワークショップ、パブリックコメント（市民意見の募集）などにより、多くの区民の皆様のご意見を聞きながら、区民まちづくり会議を中心に、熱心に検討いただきました。区の個性や独自性あふれる計画の策定にご尽力いただいた区民まちづくり会議の皆様をはじめ、ご意見をお寄せいただいたすべての皆様に、心から感謝を申し上げます。

今後、計画の実行におきましても、区民の皆様とのさらなる協働の取り組みが不可欠であり、「区中期計画」に引き続き、「区民・事業者が中心となって取り組むこと」「区民・事業者と行政が協働で取り組むこと」「区役所・市役所が中心となって取り組むこと」という主体ごとの役割が「長田区計画」に位置づけられています。

これは、長期的な神戸づくりの方向性を示す「神戸づくりの指針」に掲げた「協創（きょうそう）」を具体化したものであると考えています。「協創」は、「ひと（人）」を「たから（財）」と捉え、多様な「人財」がきずなを深めながら、みんなの力で豊かなまちにしていこうとするもので、協働と参画をさらに進めた姿です。

この「協創」によるまちづくりを進め、「長田区計画」の将来像である「世界に誇れ！食と鉄人「ゲー」なまち長田」の実現のため、ともに力を合わせて計画の実践に取り組んでいただきますよう区民の皆様をお願い申し上げます。



平成 23 年 2 月 神戸市長 矢田 立 郎

も く じ

はじめに	
も く じ	1
長田区計画の策定にあたって	2
1. 区計画の将来像	3
(1) 将来像	
(2) 将来像の背景	
(3) 将来像に託されている言葉	
2. 将来像に向けて	4
(1) 概念	
(2) 3つの柱と「つながり」	
3. 3つの柱	5
(1) 「人」…世代を超えて共に楽しく和やかなまち 長田	
● 人（高齢者）が活躍するまち	
● 人（学生～地域団体）の交流が盛んなまち	
● 人（子育て世代）が住みやすいまち	
● 人（子ども～高齢者）が健康に暮らせるまち	
(2) 「まち」…また来てみたいおもしろいまち 長田	
● まちのええとこ発掘大作戦	
● まちの「おもしろい」PR大作戦	
● まちにきて みて きいて あじわって大作戦	
● まちの元気なグーアアップ大作戦	
(3) 「自然」…自然を生かしたうつくしいまち 長田	
● 花とみどり	
● 人と自然	
● うつくしいまち	
4. 「つながり」そして実現に向けて	15
(1) つながりを大切にするまち 長田	
(2) 実現に向けた考え方	
(3) 協働関連図と数値指標	
< 参 考 >	19
I. 区の現状（統計データ アンケート結果）	
II. 策定に向けた検討の経緯	
III. 現状から計画の骨格形成へ	
IV. 区民まちづくり会議の構成と役割	

長田区計画の策定にあたって

■計画の特色

● 区民の思いを生かした計画づくり

4つの部会を中心とする区民まちづくり会議の検討会で、区の職員も一緒に意見を出し合いながら、区民の思いを取り入れた計画とした。

● 協働の取り組みを中心とした構成

区民、事業者と行政が協働で取り組む事業を中心に据え、みんなで取り組む身の丈の計画をめざした。

● 焦点を定めたわかりやすい計画

網羅的に全ての事業を盛り込むのではなく、5年間で特に力を入れていく事業に焦点を当ててすっきりと整理し、わかりやすい計画とした。

● 3つの柱と「つながり」

「人」「まち」「自然」の3つの柱とそれを実現するための視点やツールとして「つながり」を位置付けた。

● また来てみたいおもてなしのまちへ

「住み続けたいまち」をめざした前期計画を継承しながら、誇れるわがまち長田に区外から多くの方に訪れてもらうための仕掛けづくりやおもてなしを推進することを積極的に盛り込んだ。

■区計画とは？

- この計画は、2025年を目標とした将来像と今後5年間の区のまちづくりの取り組みをまとめたものです。

1. 区計画の将来像

(1) 将来像

世界に誇れ！ 食と鉄人 「グー」なまち 長田

(2) 将来像の背景

長田には誇れるものがあります。厚い人情、下町の雰囲気、そばめしやぼっかけなどの食文化、韓国・朝鮮、ベトナムなど国際的な文化、先進的なユニバーサルデザイン（UD）の取り組み。音楽会や祭も多く、それに携わる人も多数おられます。そしていまや全国的に知名度の高い鉄人 28 号。このように、日本で誇れる！世界にも誇れる！ものがたくさんあります。それらよき（good）ところを世界に知らしめ、震災から立ち上がってきた長田を見てもらいたいと思っています。これからの長田に必要なのは、これらよきものを探し、広め、増やしていくことです。自分たちのまちで何が誇れるのか？その問いからはじまり、みんなでよきものを誇っていきましょう。

(3) 将来像に託されている言葉

鉄人 28 号モニュメントの右手の「グー」は、震災から立ち上がり、力強く将来に向かっていく様を表現しています。また、長田神社前のキャラクター「グージー」は福をもたらすフクロウとして活躍中です。そして good の「グー」。将来像は、この「グー」に力をこめて、これからもがんばっていこう！という思いがこもっています。

まずは、長田の「グー」の代表である「食」と「鉄人」で世界に誇れる長田をみんなで作りあげていきましょう。

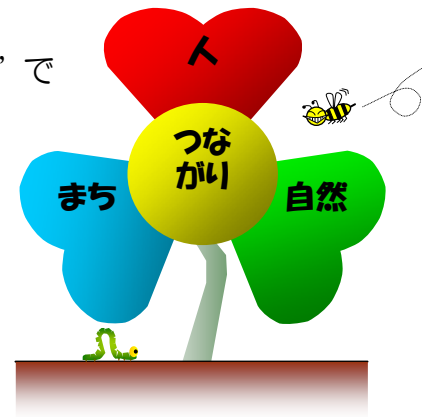


©光プロ/KOBE 鉄人 PROJECT

2. 将来像に向けて

(1)概念

【人・まち・自然がつながって・・・「グー」なまち】
「人」は“お年寄り”も“子ども”も“楽しく”“元気”で
「まち」は“明るく”“活気”にあふれ
「自然」“豊か”で“うるおい”をもたらす
人・まち・自然が互いに「つながって」、
“魅力”がたくさん生まれ、
“笑顔”が“笑顔”を呼び、
“人情”味のある長田の花が咲き誇る。



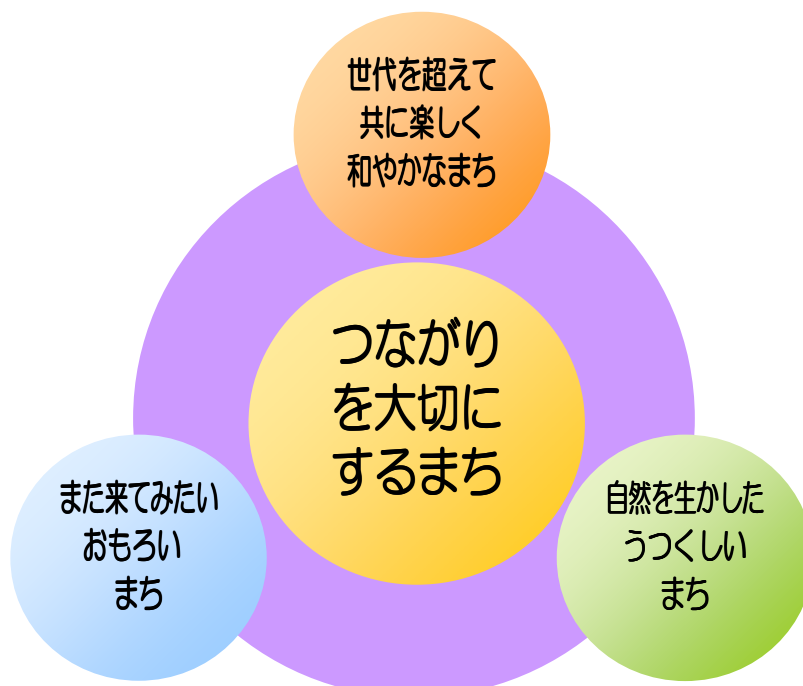
(2)3つの柱と「つながり」

将来像を念頭に、重点テーマとして長田の人やまち、自然の3つの柱を設定しました。

- ★ 人 : 世代を超えて共に楽しく和やかなまち 長田
- ★ まち : また来てみたいおもしろいまち 長田
- ★ 自然 : 自然を生かしたうつくしいまち 長田

3つの柱である長田の人やまち、自然が各々に輝くだけでは「これからの長田」を語れません。これからは、3つの柱が相互に関わり合い、助け合い、融合しあいながら、長田のまちが魅力あるものに、そしてみんな笑顔で過ごせるまちになるよう、区民・学校・事業者・行政が協働で取り組んでいくことが重要です。「つながり」は、大切なキーワードで、これからの長田を支えていきます。

- ★つながり：つながりを大切にするまち 長田



3. 3つの柱

(1) 「人」…世代を超えて共に楽しく和やかなまち 長田

高齢者も子どもも、障がい者も外国人もだれもが楽しく過ごすためには、お互いに尊重し合いながら、安全で安心な環境を創造していく必要があります。そのためには、それぞれの環境に合った施策が必要であるとともに、相互の交流や連携により、お互いを知ることが大切です。

そこで、子育て環境、高齢者の居場所などを整備するとともに、高齢者と子ども（子育て世代）の交流をはじめ、地域における交流を推進します。

また、長田で先駆的に進めているユニバーサルデザインや多文化共生にも力を入れています。世代を超えて共に楽しく和やかなまちの実現にあたっては、健康であることが何よりも大切であり、健康を維持する方策やスポーツの充実を図ります。

人（高齢者）が活躍するまち

団塊の世代を含めた高齢者の地域活動への参加は、地域の活性化だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康増進にもつながります。高齢者のボランティア育成、団塊世代の地域デビューなどを支援します。

高齢者による子育て支援

子どもに昔遊びを教える「あそびマエストロ（名人）」を登録し、子育てサークル等に派遣することで、高齢者が活躍できる場をつくります。



地域活動・ボランティア活動のすすめ

簡単な地域活動やちょっとしたボランティア活動のメニューを紹介するなど、高齢者が地域デビューしやすいきっかけをつくります。

～ちょボラのすすめ～
簡単なお掃除
ゴミだしのお手伝い etc...

人（学生～地域団体）の交流が盛んなまち

学生と地域との交流を深めて、学生に社会参加する機会を提供し、地域は学生を活用した活動を行います。また、地域団体間での情報交換を密にして、子どもの健全育成、児童虐待の未然防止、認知症早期発見などに努めます。

学生と地域との交流事業の拡大

子どもから高齢者までが参加できるスポーツ（グラウンドゴルフなど）や、学生の発表の機会が与えられたイベント（踊りや演奏など）を利用して学生（小・中・高・大学生）と地域との交流を深めます。



地域団体間での連携活動の強化

ながたっ子ネットの活動を強化して、各種のイベントを開催するだけでなく、情報交換などを活発にします。また、その活動をFMわいわいなどの情報機関を通じて情報発信していきます。



子育て支援ネットワークにおいて、子育て支援環境の整備やカンガルーフェスタの開催にあわせて、虐待の未然防止の取り組みを行います。

あんしんすこやかセンター主催の小地域ネットワーク連絡会の参加者拡大や、認知症早期発見システムの構築、あんしんすこやかルーム・コミュニティサポートグループの拡充などにより地域ケアネットワークを強化します。



人（子育て世代）が住みやすいまち

核家族化の進行や、近隣関係の希薄化などの影響により、家庭や地域における子育て機能が失われつつあります。そこで、子育て世代が交流できる居場所づくりや、子どもの見守り活動の強化などを通じて、安心して子育てができる環境を整えます。さらに家庭・地域・学校が連携して、規範意識を高めるための取り組みを行います。

子育て世代の仲間づくり

地域福祉センターや老人施設などで子育てサークルを実施し、世代間を越えた交流を行います。

妊婦・子育て親子の居場所や利用しやすい公園の紹介などにより、互いに共感しあえる仲間づくりを支援します。



見守り活動などの地域協力

地域での児童虐待などの早期発見、通告の促進を行なうため、関係機関だけでなく区民も対象とした研修および祭りなどのイベントを利用した啓発を行います。

子どもの見守り活動を強化することにより、子どもが安心して住めるまちづくりを目指します。



規範意識を高めるための取り組み

お祭りなどの楽しいイベントにあわせて、親子で一緒に学べる道徳教室を実施します。

親子ひろばなど集団に参加する時のマナーを説明する「子どもマナー絵本」（あいさつ、室内の整理整頓、オムツの処理など）を作成し、サークルを中心に普及・実施をしていきます。

あいさつ運動などの推進

「早寝、早起き、朝ごはん」の規則正しい生活リズムと、「おはよう、おやすみ、いただきます、ただいま、ありがとう」の基本的なあいさつを習慣づけるように啓発していきます。

また、誰にでも、気軽に、気持ちよくあいさつができる運動を進めます。

人（子ども～高齢者）が健康に暮らせるまち

高齢化が進む中で高齢者の健康増進を図ることと併せて、若者の健康増進・体力づくりも考える必要があります。ウォーキングなどの運動を促進することにより健康なまちづくりをめざします。

運動のすすめ

「わがまち長田を歩こう会」を通じウォーキング人口を増やし、健康こうべ21 市民推進員の登録と活動の活性化を支援します。

様々な世代が一緒にできる体操（鉄人体操・長田音頭のアレンジなど）の考案と啓発を行います。また、長田区内の公園を活用して運動をすすめます。



笑いのすすめ

働く人向けのストレス対策として、中小企業の現場責任者や商店主へのうつ・自殺予防の啓発と、こころの健康に役立つリーフレットを作成します。

がんばりすぎない、ストレス解消法を盛りこんだ笑える健康川柳を募集します。

イベントの開催やスマイルデーの設定など、笑顔を普及する活動をします。



健口のすすめ

区歯科医師会・区内大学等と連携してむし歯予防・むし歯治療に関する健康教育・イベントでの歯の健診などを行います。

乳幼児期からの歯みがきを習慣づける啓発活動を行います。

食育（バランスよく食べよう、しっかりかんで食べよう、3食食べて適正体重を維持しよう、家族や仲間と食事を楽しもう）を推進します。

地元食材で子どもも食べやすい料理のレシピ（ゴーヤレシピ、ヘルシー粉もんレシピ）コンクールの実施とレシピの普及を行います。

(2) 「まち」・・・また来てみたいおもしろいまち 長田

区外・市外から多くの方々に長田に来てもらうために、長田の情報を幅広く様々な媒体を使って発信していきます。今回の計画では、食・音楽・震災・歴史・地域などの様々な長田の情報を「文化」の切り口でわかりやすく PR します。そのために、文化を徹底的に洗い出し、それらに触れる様々な機会を創出すること、そして情報発信の仕組みづくりを行います。また、工夫を凝らして文化を継承・創造します。「おもしろいまち 長田」がさらにおもしろいまちになるために、文化を商業や産業につなげていきます。

まちのええとこ発掘大作戦

長田が世界に誇れるものは、食や鉄人だけでなくまだまだあるはずです。それらを区外からの視点、地元の人々の評価、インターネット上での情報など様々な「目」で発掘し、(地域) 文化的価値を見出していくための調査を行います。受け継がれている知恵や技・精神などについても掘り起こしを行います。

ええとこを発掘整理

長田の食文化を徹底的に調査し、わかりやすくまとめます。

(粉もん、焼肉、モーニング、お惣菜などの食や食生活に関わる調査など)

長田の文化について調査します。

(震災アーカイブ、長田神社にまつわる歴史、多文化共生、音文化、生活の知恵やものづくりの職人技、厚い人情など)

ええとこを創造発展

新しい文化になりうる取り組みやイベントの誘致を促進します。

新しい取り組みに対して、地域団体や事業者などと一体となって積極的に支援します。



まちの「おもしろい」PR大作戦

区内はもちろん、区外、市外、海外に対して長田の「ええところ」やイベント情報を様々なツールを用いて、幅広く興味を持てるよう音と映像を駆使するなど工夫を凝らしたPRを行います。

出張PRと情報発信の仕組みづくり

長田の情報を大阪や京都など他都市でPRします（街頭PRや39ハガキなど）。そのためボランティアを募集、育成します。区内の様々な情報や最新情報を収集・発信・交流する機能・仕組みをつくりま



PRツールの作成

PRチラシの充実、情報誌の発行、映像資料の製作ほか、様々なメディアやホームページ、ブログを活用します。

既存の情報発信チラシを区民や学生たちと「おもしろい」ものに刷新していきます。



まちにきてみて きて あじわって大作戦

たくさんの方が長田に来たいと思えるような、長田の「ええところ」を満載した様々な取り組みを随時行います。区外の人々には、楽しめてためになる取り組みを、区内では特に、子どもたちに伝える取り組みを行います。

長田をとことん体験

長田四大祭を再検討し、「ええところ」を盛り込み、より充実したものにしていきます。

スティールパン・ゴスペルなど長田発の音文化を発信支援していきます。

食文化を体験する取り組みを行います。（キムチ講習会、長田焼体験など）



歴史文化の継承発信

長田の文化が薫る場所を解説しながら巡り歩く「長田文化散歩」を開催します。ミステリーウォークなど工夫を凝らした取り組みを検討し、これらを支えるサポーターを育成していきます。

長田をくわしく知るために、文化継承塾、歴史発見塾、地域資源活用塾など「長田塾」を開催します。

みこし さぎちょう ついなしき
神輿、左義長、追儺式など歴史的伝統的資源を守る取り組みに対して、情報発信などの支援を行います。



まちの元気なグーアップ大作戦

長田に元気をもたらすためのひとつの方法として、文化を商業や産業に取り入れる、あるいは発展させる仕掛けを検討します。取り組みにあたっては、世界を視野に入れ、次世代につながるものにします。

商業・産業に元気を

ロボット・アニメなど新しい産業を育てる活動を支援します。

お土産もの（名品、逸品）の充実を働きかけ、また、まちを回遊させるしくみづくりなどを行います。



まちのキャラクターでグーアップ

鉄人28号、三国志を用いたまちのにぎわいづくりを検討、支援します。

グージーを用いたまちのにぎわいづくりを検討、支援します。



(3) 「自然」・・・自然を生かしたうつくしいまち 長田

長田のまちは、狭い市街地にたくさんの住宅のほか色々な商店や工場が軒を連ねたまちで、古くから神戸の代表的な下町地域とされ、他の区に比べて、花や緑、美しい景色が少ないまちです。このような環境のもとで、長田の地域力を生かした効果的なソフトの取り組みを工夫し、まちの自然を生かしたうつくしいまち長田をつくります。

花とみどり

長田区の花サルビア、長田区の木ハナミズキの普及に加えて、ゴーヤによる「緑のカーテン」づくりに重点的に取り組み、区民との協働で花と緑があふれるうるおいのあるまちづくりを行います。

花とみどりのまちづくりの推進

①区の花サルビア・区の木ハナミズキの普及とデザイン化

- ・学校で、地域で、家庭で区の花サルビアを育てていきます。
- ・市民花壇などを活用して街角どこでもサルビア飾花を行い、長田らしいまちなみをデザインします。



②花と緑の家なみづくりの推進

- ・家庭の緑化・飾花の推進をはかります。（おうちのお花と緑コンテストなど）
- ・公共空間の緑化・飾花の推進をはかります。（市民花壇など）





「緑のカーテン」(長田ゴーヤ大作戦)の全区展開

ゴーヤによる「緑のカーテン」づくりを、地域と行政の協働で区域全体に普及させることによって、地域資源としての新しい長田の名物づくりを行います。



- ・ 区役所、地域福祉センターなどの公共施設で「緑のカーテン」づくり
- ・ 区内小学校、中学校などで「緑のカーテン」づくり
- ・ 区内一般家庭で「緑のカーテン」づくり

人と自然

長田にある山・川・緑など、まちの自然を生かし地域力を高めていきます。例えば獅子ヶ池周辺の里山整備や新湊川の川づくり活動などを通じて、地域内の協働と交流を進め、それを区内地域間の交流につなげていきます。

自然にかかわる活動の推進

獅子ヶ池、苅藻川、新湊川などで行われている地域主体の活動を支援します。

(今後、高取山、長田港にも注目し、魅力を紹介していきます。)



自然を通じた人びとの協働と交流

自然にかかわる活動を通じて地域内の協働と交流を推進するとともに、団体相互の交流、他区、他都市との交流の場づくりを行います。



うつくしいまち

住む人にとっても、訪れる人にとっても長田のまちが快適なまちになるように、ゴミ捨てなどマナー全般の向上に向けて、区民一人ひとりの意識を高め、まちや暮らしをデザインする視点から、うつくしいまちを演出します。

まちの環境づくり

①うつくしいまちの顔づくり

- ・主要駅周辺のスポットで、地域主体の清掃・美化活動を支援し、駐輪対策などの取り組みを積極的に展開します。
- ・鉄人広場、ピフレ前広場などまちの広場で、緑化飾花や美化活動などを通じて、うるおいとやすらぎある空間づくりを行います。



②歩いて楽しいまちづくり

- ・まちなかにちょっと意外なアートを施すなど、長田のまち歩きを楽しくさせる工夫をします。(新湊川の壁画、長田港の防潮堤、マンホールのふた等)
- ・路地やお地蔵さんなど、長田らしいまちなみや風景の魅力を紹介していきます。

マナーアップ作戦

①世界に誇れるマナーのまち

- ・放置自転車対策、ポイ捨てなど、地域・学校・行政が一体となって人々の心に響く取り組みを工夫し、世界に誇れるマナーのまち長田をめざします。

②長田クリーン大作戦

- ・従来のクリーン作戦に加えて、スポーツごみ拾い、イベント参加型ごみ拾いなどの新しい手法を取り入れ、これまで参加が少なかった若い世代へのクリーン作戦の普及拡大をはかります。



4. 「つながり」そして実現に向けて

(1) つながりを大切にすまち 長田

長田の特徴のひとつに、阪神・淡路大震災を経験し、様々な悲しみや苦しみを乗り越えてきたことがあります。その経験は、我々に昔ながらの近所づきあい（コミュニケーション）が大切だったこと、そして新たな人と人とのふれあいが生まれたことを気づかせてくれました。このふれあいの和をより一層広く、そして深めていくことが、助け合いにつながり、やさしさを育み、人情味のある地域の力につながり、これからの長田をつくっていくこととなります。

3つの柱の事業は、この「つながり」を重要な視点あるいはツールとして捉えながら進めていきます。

学校との連携

事業を展開する上で、学校が持つ「知」を活用したり、学生や生徒とともに行うことが大切です。また、様々な情報を互いに共有する仕組みづくりを構築していきます。

ユニバーサルデザインの推進

長田では、ユニバーサルデザインに関する取り組みを「長田区ユニバーサルデザイン研究会」を中心に行っています。ここで蓄積された「すべての人にやさしいまち」に対する考え方などを、事業を展開するうえで常に意識していきます。

※ユニバーサルデザインとは、企画当初から、年齢・能力・性別や障がいのレベルなどに関わらず、できるだけすべての人が利用しやすい環境や製品を作ろうとする考え方で、最近ではもの（製品）作りだけではなく、様々な方面、特にまちづくりの分野で注目されています。

様々な拠点の活用

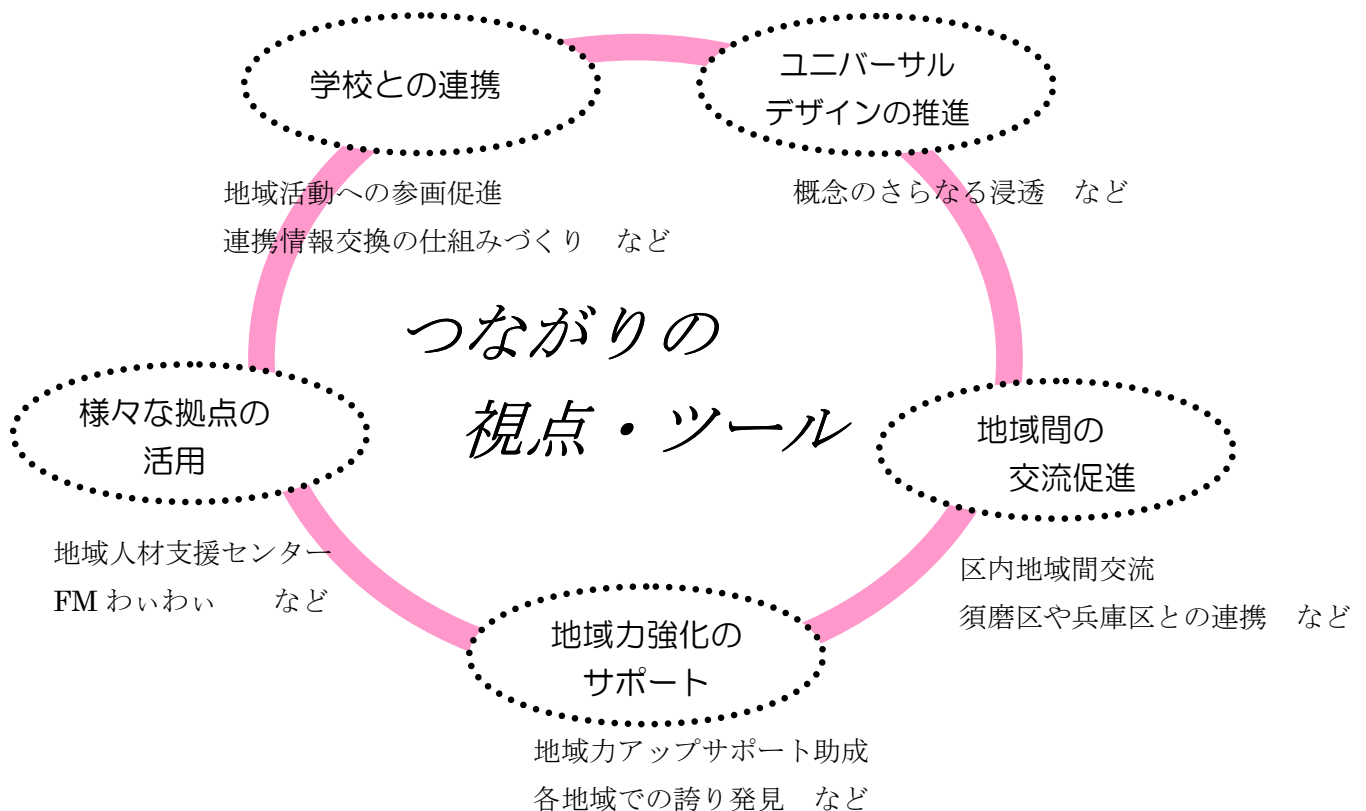
平成 22 年 11 月に開設された「地域人材支援センター」や「FMわいわい」など、区内には様々な拠点となる施設があります。これらの施設を活用しながら事業展開していきます。

地域間の交流促進

活気ある事業や地域活動を促進するため、区内の地域間での交流や須磨区・兵庫区など近隣区との交流が重要です。そのような地域間交流も視野に入れながら事業を展開していきます。

地域力強化のサポート

事業展開には、地域力の強化を盛り込んでいきます。また、地域ごとに特性が異なるため、その地域にあった対策が必要です。地域ごとの事業展開に関してサポートするため、地域力を高めるための助成制度の確立や地域ごとの特性（誇り）を区民とともに把握していきます。



(2) 実現に向けた考え方

この計画の遂行にあたり、以下の項目を意識しながら実施していきます。

● 「つながり」を主軸に！

取り組み全般について、「つながり」を意識しながら事業を展開していきます。

● 協働で！

行政が事業を行うのではなく、区民、事業者、学校などと協働・連携を図りながら、みんなでみんなのための事業を展開していきます。

● 地域ごとに！

地域ごとに置かれている状況は異なります。各地域の住民が「愛するまち」だと、誇れるようなよいところを生かしながら、事業を展開していきます。

● PDCA で CHECK！

常に、P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）を行い、区民まちづくり会議を中心に、進捗状況や社会情勢に合わせて、計画を随時更新していきます。

(3) 協働関連図と数値指標

事業別協働関連図(中心的役割図)	数値指標
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 区民・事業者 協働 市・区 </div>	
世代を超えて共に楽しく和やかなまち 長田	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人(高齢者)が活躍するまち <ul style="list-style-type: none"> 高齢者による子育て支援 地域活動・ボランティア活動のすすめ 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人(学生～地域団体)の交流が盛んなまち <ul style="list-style-type: none"> 学生と地域との交流事業の拡大 地域団体間での連携活動の強化 	3歳児健診受診時の う歯未処置率 1. 5% (現状値: 3. 1% H22. 3末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● 人(子育て世代)が住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の仲間づくり 見守り活動などの地域協力 規範意識を高めるための取り組み あいさつ運動などの推進 	健康こうべ21 市民推進員の 登録数 100人 (現状値: 14人 H22. 9末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● 人(子ども～高齢者)が健康に暮らせるまち <ul style="list-style-type: none"> 運動のすすめ 笑いのすすめ 健口のすすめ 	
また来てみたいおもろいまち 長田	
<ul style="list-style-type: none"> ● まちのええとこ発掘大作戦 <ul style="list-style-type: none"> ええとこを発掘整理 ええとこを創造発展 	
<ul style="list-style-type: none"> ● まちの「おもろい」PR大作戦 <ul style="list-style-type: none"> 出張PRと情報発信の仕組みづくり PRツールの作成 	長田文化を10 テーマ発掘・整理 (現状値: 0 H22. 3末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● まちにきてみてきいてあじわって大作戦 <ul style="list-style-type: none"> 長田をとことん体験 歴史文化の継承発信 	

事業別協働関連図(中心的役割図)	数値指標
<div style="display: flex; justify-content: space-around; border-bottom: 1px dashed black; padding-bottom: 5px;"> 区民・事業者 協働 市・区 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● まちの元気なグーアップ大作戦 <ul style="list-style-type: none"> 商業・産業に元気を まちのキャラクターでグーアップ 	
自然を生かしたうつくしいまち 長田	
<ul style="list-style-type: none"> ● 花とみどり <ul style="list-style-type: none"> 花とみどりのまちづくりの推進 「緑のカーテン」の全区展開 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人と自然 <ul style="list-style-type: none"> 自然にかかわる活動の推進 自然を通じた人びとの協働と交流 	<p>「長田ゴーヤ大作戦」 隊員の登録数 200人 (現状値：0 H22.3末現在)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● うつくしいまち <ul style="list-style-type: none"> まちの環境づくり マナーアップ作戦 	

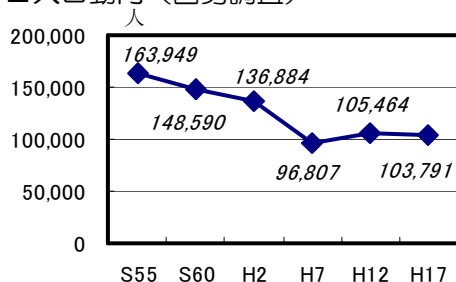
< 参 考 >

I. 区の現状

(1) 統計データ

- 長田区の人口は減り続けてはいるものの、現在はその減少傾向は鈍化している。
- 5 歳階級別での人口分布から、子どもが少なくなり、高齢者が増えているいわゆる **少子高齢化**が進んでいる。(高齢化率 28%台、15 歳未満人口率 10%台)

■人口動向（国勢調査）

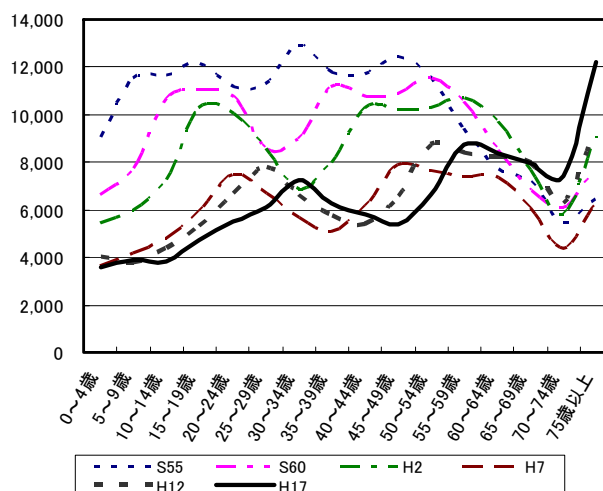


■現在の統計データ（推計人口）

平成 22 年 9 月 1 日現在

人 口	101,276 人
世帯数	48,525 世帯
1 世帯当たりの人員	2.09

■5 歳階級別人口分布動向（国勢調査）



(2) 区民アンケート

- ・平成 21 年 3 月から 4 月にかけて、区民無作為抽出 1,376 名および区民まちづくり会議委員、区老連、区連合婦人会 158 名を対象に実施。有効回答数 435 回答率 28.4%。
- ・長田区のまちづくりの方向性やこれから 5 年間で取り組むべきことなどについて区民のニーズを把握した。

キーワード

高齢者、子ども、防犯・防災、安全・安心、美しいまち、自然、空地・空家、イベント、見守り、活気、にぎわい、楽しい、協力など

■長田区の将来像について（まちづくりの方向性）

上位 5 位

高齢者・障がい者が安心してくらせるまち	32.2%
市場・商店街に活気がある、にぎわいのあるまち	32.0%
防犯・防災活動がさかんな安全で安心してくらせるまち	29.2%
子どもを安心して育てることができるまち	27.4%
清掃・美化活動などがさかん美しいまち	16.3%

■これから 5 年間で取り組むべきこと

上位 10 位

清掃・美化活動への支援など「美しいまち長田」の取り組み	52.6%
参加してみたいくなるような楽しいイベントの開催	51.5%
「あいさつ運動」や「防犯パトロール」など防犯活動への協力	44.8%
高齢者を見守る活動の実施	43.7%
震災等で放置された空き家の解消・空き地の有効活用への支援	42.8%
違法駐車・駐輪に対する取り組み	39.8%
障がい者が安心して暮らせる施策	33.1%
山・川・海など自然を守り育てる活動への協力	31.7%
子どもたちが参加できるイベントの開催	31.5%
青少年の見守り活動への協力	31.0%

(3) イベントアンケート

①長田のまちアンケート(現状分析)合計 127 名

- ・7/11 星の盆、7/18 夏越ゆかた祭で、参加者を対象に、長田の好感度、住みやすさ、イメージについて、良いか悪いかシールを貼付。また「ここがええ」「ここがあかん」ところを質問。

- 好感度と住みやすさは概ね良好であるが、イメージは好感度と比較すると良好度合が若干劣る傾向にある。
- 好感度やイメージは区内住民のほうが区外住民より良好度合が高い。

「ここがええ」「ここがあかん」キーワード

祭りが多い、やさしい、物価がやすい、人がいい、笑顔がよい、おいしい、人情がある、マナーが悪い、自転車マナーが悪い、坂（北部）が多い、 など

②短冊アンケート(将来像) 合計 210 件

- ・七夕の前後に「長田のまちが〇〇〇まちになりますように」という題で、イベント時、長田区シンポジウム時、婦人会等に短冊に願いを記入。

- 短冊には、「楽しいまち」「元気なまち」「安全・安心なまち」「明るいまち」などの願いが多い。

短冊に書かれたキーワード

楽しい、明るい、安全・安心、住みよい、住みやすい、活気ある、美しい、きれいな、笑顔、やさしい、にぎやか、自然・緑・花、豊かな、子ども、おもしろい、 など

II. 策定に向けた検討の経緯

(1) 区民まちづくり会議

①長田区シンポジウム 7/21 来場者 295 名

- ・パネルディスカッションで、パネラー5名（各部会長、連合婦人会長）に「これからの長田」をボードに記入。
- 「自然豊かなまち 長田」「老いも若きも和やかなまち 長田」「人情味豊かな子ども笑顔があふれるまち 長田」「官民力をあわせて豊かなまち 長田」「笑顔あふれる素敵なまち 長田」

②合同部会ワークショップ 2回開催 延 54 名

- ・10/5 長田区の現状とおすすめのアイデア出し、将来像
- ・10/14 アイデア出しと将来像の整理、その重み付け
- アイデアを15のキーワードと50の項目に分類し、重み付けを行った結果、観光PR強化、地域力の強化・交流、大学との連携、美しいまちの環境整備などが上位にランクされた。
- 将来像では、イメージアップ、UD、コミュニティ、活性化に関するものが多かった。

③4部会での検討

各部会において、各柱の事業を検討。

- ・うるおい部会 12回開催 「自然を生かしたうつくしいまち 長田」の検討
- ・いきいき部会 5回開催 「また来てみたいおもしろいまち 長田」の検討
- ・にこやか部会 10回開催 「世代を超えて共に楽しく和やかなまち 長田」の検討
- ・のびやか部会 10回開催 同上

(2) 区役所内での検討

- ・長田区検討会議（区長を中心とした会議） 計5回
- ・長田区検討ワーキング（課長級以下の会議） 計24回 で検討。

Ⅲ. 現状から計画の骨格形成へ

